

みょうほうれんげきょうかんぜおんぼさつふもんぼんげ
妙法蓮華經觀世音菩薩普門品偈

お釈迦様は真に美しい容姿をされています。

私（無尽むじん意菩薩にぼさつ）は今、彼（觀世音菩薩）についてお伺いします。

お釈迦様のお弟子である觀世音菩薩はどのような理由で觀世音菩薩という名前になったのですか？

徳のある姿が十分に美しいお釈迦様。

詩をもって無尽意菩薩に答える。

あなたは、觀音の修行がどんなに優れているかよく聴いておきなさい。

觀音の決意は、海の如く深いものである。

それは、とても長い時間が過ぎても理解することはできない。

觀音は、これまで何千億の仏のそばについて、清らかな願いを持ちました。

私はあなたのために、簡単に説明しよう。

観世音菩薩の名前を聞き、そして姿をみて、心に念じてむなしく過ごさなければ、あらゆる苦しみは消滅する。

悪意のある者から火の穴に落とされても、観音の救いを念ずれば火の穴は池となろう。

大海の中を漂流し、龍や怪魚や鬼などに襲われたとしても、観音の救いを念ずれば、波に溺れることはない。

高い山の頂から落とされても、観音の救いを念ずれば、太陽のように空中に留まることができる。

悪人に追われ金剛山より落ちても、観音の救いを念ずれば、髪の毛一本も傷つかない。

刀を持った賊に囲まれ殺されそうになっても、観音の救いを念ずれば、賊の心はたちまち優しくなる。

国王に捕らえられ、刑場で処刑されそうになっても、観音の救いを念ずれば、刀はバラバラにこわれてしまう。

牢屋に入れられ、鎖につながれていても、観音の救いを念ずれば、鎖は解けて自由になる。

呪いや毒により命が危険にさらされても、観音の救いを念ずれば、殺そうとした者にそれらが戻っていく。

悪鬼、毒龍といった様々な怪物に遭っても、観音の救いを念ずれば、どれも害を与えなくなる。

猛獣に囲まれ、牙や爪で殺されそうになっても、観音の救いを念ずれば、どこかに走り去ってしまう。

トカゲ、蛇、マムシ、さそりなどが毒気を吐いても、観音の救いを念ずれば、たちまちにいなくなってしまう。

天がとどろき、雷が光り、電が降り、大雨になっても、観音の救いを念ずれば、たちまちに消滅してしまふ。

人々が困難にあい、様々な苦しみにさいなまれるとき、観世音菩薩の優れた力が、人々を苦

しみから救ってくれる。

神通力を具え、様々な方法で人々を救い、この世界に現れないことはない。

観音菩薩はさまざまな苦しみの世界に出向く。地獄、餓鬼、畜生などによる苦しみと、生老病死の苦しみを、消滅していく。

観世音菩薩は真実の観、清浄の観、広大な智慧の観、憐みの観、慈しみの観、それら全てが備わっている。

だから常に観世音菩薩を仰ぎ尊びなさい。

観世音菩薩は汚れのない清らかな光に包まれ、太陽のごとき智慧の輝きが全ての闇を破り、よく災いの風火を吹き消し、世間を照らす。

憐れみの心は雷のように人々を守り、慈しみの心が雲のように人々を覆う。

永遠の教への雨を降らし、人々の煩惱の炎を鎮める。

争いに巻き込まれ法廷に連行され、戦場で死

の危険にさらされた時、この観世音菩薩の力を念ずれば、全ての憎しみは消え去ってしまう。

観世音菩薩は優れた音、世間を観る音、梵天の音、大海の音を持ち、世界のあらゆる音に勝る音を持っている。

だから、常に観世音菩薩を念じなさい。

その一念を決して疑ってはならない。

一切の功徳をそなえ、慈しみの眼で迷える者達を見つめる。その福徳は海の如く無量である。

ゆえに観世音菩薩を礼拝しなさい。

その時、持地菩薩じじぼさつが座より立ち上がりお釈迦様に申し上げた。

お釈迦様。

観音菩薩品で説かれた観世音菩薩の自在なはたらき、あまねく世界に姿を現し、その不思議な力について聞いたならば、人々は大いなる功徳を得ることでしょう。

お釈迦様がこの観音経普門品を説いた時、

その説法の座にいた八万四千の人々は、みな無上の比類のない悟りに達した。